

医王病院ニュース

患者さん一人ひとりに寄り添い、心のふれあいを大切にし信頼される医療を目指します。



「兼六園」

臨床工学士 越智 裕之【撮影者】

冬号
第72号

令和8年1月26日発行

新年のごあいさつ

新任のご挨拶

ニューフェイス紹介

災害対応訓練を実施

セラピーな1日～セラピードッグやオルゴールで癒しの空間～

サンタさんはどこに？～デイサービス クリスマス会～

★人生の節目★ 石川県行政書士会 出前講座 開催

出前講座に伺いました 慰霊祭を開催しました

ボランティア募集中！

石川県立医王特別支援学校

外来担当表、病院案内図

新年のごあいさつ



院長 石田 千穂

2026年（令和8年）の新春を迎え、謹んでご挨拶を申し上げます。
年の初めにあたり、まず2年前の能登半島地震に思いを致します。奥能登豪雨も重なり、能登在住の皆さまにとっては、日々の生活再建こそが最重要課題であると思われますが、能登半島地震以降も、規模の違いはあれ全国各地で地震や豪雨による被害が相次いでおります。当院といたしましても、災害への備えをさらに進めていかなければならないと、年頭にあたり改めて決意を新たにしております。

昨年の国内の出来事としては、史上初の女性総理大臣の誕生がありました。高市首相の政策の評価はこれからではありますが、前向きな発言や姿勢に励まされている方も多いのではないのでしょうか。

また、大阪・関西万博が開催され、大きな話題となりました。実際に足を運ばれた方、あるいは参加された方のお話を聞かれた方もいらっしゃると思います。公式キャラクター「ミャクミャク」も話題となり、最初は戸惑いを感じながらも、次第に親しみが湧いてくるという声も聞かれ、人の心理の面白さを感じさせられました。

一方で、物価の上昇が続き、家計への影響を実感された方も多かったのではないのでしょうか。最近では野菜やガソリン価格に落ち着きが見られる点は、少し明るい材料でもあります。

さて、かねてより「2025年問題」が注目されてまいりました。団塊の世代の方々がすべて後期高齢者となられ、医療・介護需要の増加が見込まれるとされてきました。当院は年齢に限らず、主として身体に障がいのある方の診療・ケアに携わっておりますので、急激な患者数の増加という実感はありませんが、一方で若年層の人口減少は、スタッフ不足という形で現れております。当院では電子カルテを導入し、さらに可能な範囲で業務のデジタル化を進め、医療DXの推進に取り組んでおります。皆さまにご協力いただいている「マイナ保険証」も、その一環です。電子機器を活用することで、よりきめ細かなケアや、患者さんと向き合う時間の確保につなげていきたいと考えておりますが、運用にはまだ試行錯誤もあり、現場の負担があることも事実です。病院も時代に合わせて変化していく必要がありますが、その最終的な目的は、患者さんへの還元であることをご理解いただければ幸いです。

2026年は丙午（ひのえうま）の年にあたります。午年は「躍動」や「前進」を象徴し、「ひのえ」が重なることで情熱や活力が高まる年とも言われています。「うまいく」という言葉のとおり、前向きな一年となることを願っております。医王病院では、昨年の取り組みや反省を踏まえ、神経筋難病、筋ジストロフィー、重症心身障がい児（者）、子どものこころの診療を中心とした医療・ケアの質をさらに高めていく所存です。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、2026年が皆さまにとって、穏やかで実り多い一年となりますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

新任のご挨拶

看護部長 三浦美和子



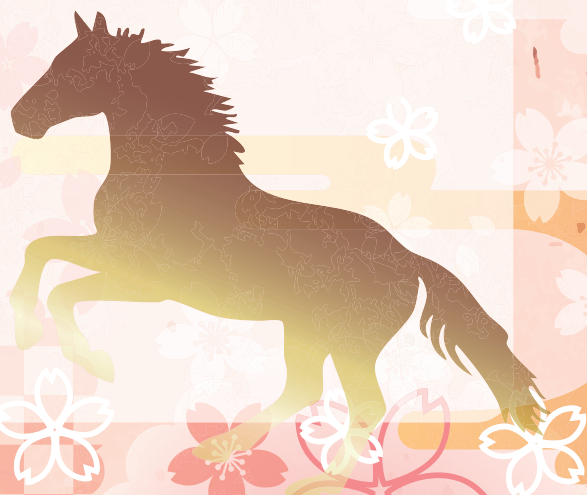
令和7年9月1日付で医王病院看護部長に着任いたしました三浦美和子と申します。
どうぞよろしくお願いいたします。

私は、4年半前まで金沢医療センター附属金沢看護学校で教員をしており、北陸地区は3回目の赴任になります。看護学校では、実習を担当し石川県・富山県内のNHO病院や社会福祉施設、訪問看護ステーションなどへ行っていました。その中でも、医王病院は多くの学生を受け入れていただいていた実習施設であったため、親しみのある病院でした。実際に着任し病棟をまわると、当時お世話になった看護師や成長した卒業生など知った顔が職員に見受けられ、ともに看護を行っていく心強さと安心感がありました。

当院は、国立病院機構の中でも医療のみならず障害福祉サービスの提供も行っているセーフティネット系の病院の一つです。神経筋難病や重症心身障害による重い障がい等をもつ患者さんをセーフティネットとして支える医王病院は、入院患者さんはもちろん訪問診療・看護、ショートステイ、レスパイト入院、デイサービス、小児や難病に関わる県からの委託事業など地域の実情に合わせ、利用者・ご家族の暮らしを支える役割を担っています。さらに、令和6年の能登半島地震によって能登地区から当院へ転院された患者さんもおられると聞き、北陸脳神経筋疾患センターとしての使命も改めて実感しております。

これらの病院機能を支えるための「『息る』を支える」「1mmを叶える」「言葉を聴きとる」「日常生活を支える」看護は、患者さん一人ひとりの生命・人生・生活を豊かにする土台となります。細やかな観察で患者さんの声を聴き、安全で心地よい看護が提供できるよう取り組んでまいります。そして、倫理観を高く持ち、科学的根拠を基盤とした専門性の高い看護実践に努め、地域の利用者・ご家族が安心して暮らせるよう多職種と連携し、地域に貢献していきたいと思っております。

今後とも、ご支援とご協力のほど、よろしくお願いいたします



所属 職名 名前

- ①趣味は何ですか。
- ②自分を動植物に例えると？
またその理由は？
- ③抱負をお聞かせください。



第3病棟 看護師 田中 真緒

- ①最近は何編み物をはじめました！かばんに挑戦中です。
- ②パンダに似ていると言われました。食べて寝る姿が似てるらしいです。
- ③貯金頑張る

第6病棟 看護師 花澤 明里

- ①楽器演奏
- ②コアラ。マイペースだから。
- ③新しい環境で緊張していますが、自分のペースで頑張りたいです。よろしくお願いします。

第8病棟 看護師 岩田 えりな

- ①山登り
- ②キリン。首が長いから。
- ③初めての病院なので緊張していますが、精一杯がんばります。

栄養管理室 事務助手 田邊 栄

- ①水泳・サイクリング(近隣散策)
- ②ねずみ。自分の干支。
- ③初めての医療機関の勤務ですが、栄養管理室の一員として貢献できるよう努力していきます。

企画課 算定・病歴係 稲月 蓮華

- ①編み物・映画館で映画を観ること・漫画を読むこと。
- ②猫。マイペースで気まぐれなところが似ていると思ったから。
- ③事務職として、医療現場が円滑に機能するように日々の業務を通じて支えられるよう頑張ります。

企画課 事務助手 畑中 優菜

- ①旅行・インテリア探し。
- ②ミーアキャット。危機的状況を察知するのが早いから。
- ③子育てと仕事をがんばります。

管理課 自動車運転手 上野 幸明

- ①温泉旅行
- ②馬。自分が馬面だから。
- ③みなさんと仲良く頑張っていきたいです。

管理課 事務助手 野田 舞子

- ①スポーツ観戦(バスケットボール・バレーボール)
- ②犬。人と関わるのが好きで、周りの方とのコミュニケーションを大切にしたいから。
- ③一日も早く職場に慣れ、周囲の方々のお役に立てるよう努めます。

地域医療連携室 事務助手 徳山 京子

- ①ウォーキング・ゲーム
- ②あり。まじめだから。
- ③一日も早く皆様のお役に立てるようがんばります。

療育指導室 保育士 小杉 昌巳

- ①ウォーキング
- ②うさぎ。飛び跳ねるように歩くことがあると言われるので。
- ③楽しみながら仕事をしていきたいと思います。



災害対応訓練を実施

事務部長 花森 弘充

日本は世界の中でも地震や津波、台風、豪雨などの自然災害が非常に多い国ですが、最近
は特に地球温暖化による災害がいつ起こるかわからない状況です。2024年（令和6年）1
月1日の能登半島地震では、震度7を観測した能登地方に比べると被害は小さいですが、金
沢市でも観測史上最大の震度5強を記録しており、それから2年が経過しようとしています。
金沢市の直下を森本・富樫断層帯が縦断しており、断層は石川県河北郡津幡町から金沢市を
経て白山市付近までの26キロにわたり、今後30年以内に地震が発生する可能性が高く、全
国的にも危険度が高いグループに分類され、将来マグニチュード7.2程度の地震が発生する
と推定されています。

そのような地震を想定し、昨年11月12日に日中想定での災害訓練を実施しました。訓練は、
単なる「行事」ではなく、災害時に起こりうる様々な状況を具体的に想定し、それに対して
どう動くべきかを繰り返し行うことで、災害に対する備え・知識を確実なものとし、いざと
いう時に反射的な行動、対応ができるようになればと思います。

今回の訓練では平日の14時に市内で震度6弱・マグニチュード7.2の地震を観測し、エレ
ベータが停止した、という想定の中でデイサービス利用者や通院患者の入院受け入れ手順等
の確認を行いました。平日の日中、人員が多数いる中で、各部署の連携や緊急対応を踏まえ、
どのような動きができるのか、も確認しました。

当日は訓練放送により訓練がスタート。院長指示により災害本部を立ち上げ、職員及び入
院・外来患者の被災状況の報告から始まり建物等の被災状況の報告を行いました。訓練では
デイサービス利用者の入院受入訓練も実施しましたが、
通常であればエレベータの使用が不可欠となる人工呼吸
器を装着した患者搬送をデイサービス送迎車により病棟
非常口から受け入れる想定で実施しました。また、安否
確認システムによる職員への情報伝達訓練も行いまし
た。

訓練終了後には参加者より多数の意見があがり、改善
課題を認識・共有しました。今後、災害対応等の精度向
上に生かせるよう定期的に訓練を実施していきたいと思
います。



セラピーな1日～セラピードッグやオルゴールで癒しの空間～

療育指導室 川邊 祐樹

🐾アニマルセラピー🐾

「わんわん!」「くぅ～ん♪」「パタパタパタッ」病院の廊下に響く鳴き声や足音に、休憩室にいた看護師さんたちが一斉に顔を出しました。そこにはたくさんの犬と飼い主さんがズラリ!! コロナ禍の前から計画していた『アニマルセラピー』が11月22日(土)に5、6病棟で行われました。

お越しいただいたのは、石川県救助犬協会連合会に所属する方々で、毎週末のように施設でのセラピーやショッピングモールでのイベントなどで活動していっしょにいます。

セラピードッグと触れ合う患者さんたちは、本当に良い顔をしておられ、普段は引きつるような笑い方の方が満面の笑みでお腹に小型犬を載せていたり、中型犬に手を舐められて「くすぐった～い」と喜ぶ方がいたり、大型犬に怖がりもせずじっと見つめて「この子好きだな～」と囁いている方がいたりと様々な反応を示してくださいました。

やっぱり動物には不思議な力があるんだな～、という瞬間を目の当たりにした1日となりました!

是非、また来てほしいな～♡



療育指導室 山田 優佳

♪オルゴールセラピー♪

「石川県重症心身障害児(者)を守る会」が企画してくださったオルゴール鑑賞会を病棟でも開催していただきました。

「Jupiter」など穏やかな曲では優しくも力強い音に患者さんもうっとりとして聴き入る様子が見られました。「ドラえもん」「となりのトトロ」などみんなが知っている元気な曲には腕を動かしたり声を出したりとそれぞれの表出の仕方と一緒に楽しまれていました。

普段、音楽を聴くときとは違う表情や様子の患者さんが見られ、オルゴールの癒しの力を感じることができました。



サンタさんはどこに？ ～デイサービス クリスマス会～

療育指導室 高峰 さくら

とある日、職員と利用者さんの会話の中で、“脱出ゲーム”が話題にあがりました。
「これが病院でも出来たら楽しそう！」
そんな思いから、今年のクリスマス会は“脱出ゲーム”をイメージして作り上げることに！

サンタさんからの挑戦状にみんなで挑みました☆

脱出ゲームとは…
謎や暗号を解きながら
閉じ込められた状況から
脱出（目的達成）を目指す！



サンタからの挑戦状

お部屋に隠された12枚の文字カードを見つけ
サンタの居場所を突き止めるのじゃ！

これは何かな？ビンゴ？



この楽器どう使うのだろう？

ボールを転がして奥の風船を
どかすことができれば、
カードが出てくるかな？



カードを見つけようと、利用者さんは目の前の楽器を鳴らしてみたりボールを転がしてみたり。ご家族同士で協力し夢中になって謎を解く姿もあり、最後は全員がサンタさんの居場所を突き止めることができました★

そして、サンタさんからかわいい靴下のプレゼントをもらいました。後日さっそく履いてこられる利用者さんも！初めての試みでした

が、ご家族から「楽しかった！」と感想をいただくこともでき、素敵なクリスマス会となりました♪



★人生の節目★

療育指導室 七黒 由梨

7病棟では今年度、人生の節目を 還暦：1名、古希：1名、七五三：2名 の方々が迎えられ、ご家族にも参加していただき一緒にお祝いをしました。

赤いちゃんちゃんこや紫のちゃんちゃんこがとてもお似合いでしたが、お二人とも頭巾は苦手な様子でした。

七五三ではかわいい衣装にお着替えをして、職員が扮した神主や巫女にお祓いをしてもらい、千歳飴をもらいました。

これからも楽しい活動や行事をしながら、元気に過ごせたらと思います！



石川県行政書士会 出前講座 開催

成年後見制度について

成年後見サポートセンターコスモス 近藤 守 先生

療育指導室長 桑原 啓吏

成年後見制度については以前より、障害福祉サービスを利用されている入所者・利用者のご家族から、「成年後見という言葉は知っているけど、詳しくどこに聞けばいいのかわからない」というお話を聞いておりました。そこで、今回、石川県行政書士会にお願いし、成年後見制度についての出前講座（講師：近藤守先生）を当院で開催していただきました。

開催当日の昨年12月3日、5・6・7・8病棟に入院されている患者さんのご家族、通所デイサービスの利用者さんのご家族、当院職員、計34名の皆さまにご参加いただきました。

近藤先生には、成年後見制度の基本的なところや、そのメリット・デメリットについてお話しいただき、成年後見制度の利用を考えるきっかけになったと思います。

講座に参加されたご家族からは、「わかりやすかった」、「勉強になった」、「一度聞いてみたかったのでよかった。さらに今後のことを考えていきたい。」とのお声をいただきました。

今後も、機会があれば、ご家族にも学んでいただける場をつくっていききたいと思います。



出前講座に伺いました

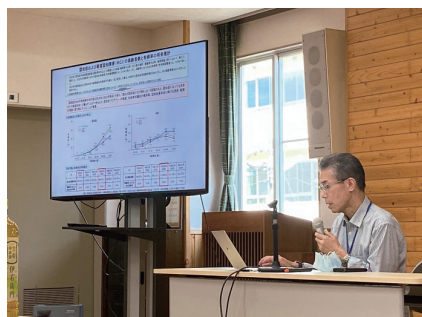
管理課庶務係 白崎 力

医王病院では、地域活動の一環として、平成21年度から近隣地域への出張出前講座を行なっています。コロナ禍で一時中断していましたが、実に6年ぶりの開催となりました。今回は「認知症とうまく付き合うために～最近の話題から～」と題して薬師谷公民館にて当院名誉院長である駒井清暢先生に講演頂きました。

物忘れの中にも注意すべきものが潜んでおり、認知症のサインとして早期に発見し、家族・地域・医療・福祉等との連携を通じて認知症とうまくつきあっていくことの大切さを学ばせて頂きました。

講演では日常の身近な出来事を交えて、高度に専門的で難しいお話を大変分かりやすく説明頂き、時には駒井先生の軽快でコミカルな表現も加わり、会場には笑い声に包まれる時、そして真面目に聞き入る時が交錯し、大変好評のうちに講演を終えることができました。

医王病院では地域の皆様のご要望による出張での出前講座を随時受け付けておりますので、ご希望がございましたら、医王病院管理課までご連絡をお願いいたします。



慰霊祭を開催しました

管理課長 疋島 良隆

昨年10月29日に第6回医王病院慰霊祭を執り行いました。慰霊祭については、コロナの影響もありしばらく開催を見合わせておりましたが、一昨年と昨年に開催し、昨年の慰霊祭では令和2年1月から令和4年12月の間に、病理解剖にご協力頂きました25名の皆様の御霊をお慰めし、心から敬意と感謝の意を申し上げさせて頂きました。

慰霊祭には、ご遺族の皆様にもご参列頂き、病理解剖にご協力頂きました方のご芳名の奉読、故人の偲んでの黙祷、院長の式辞、研究検査科長の挨拶、献花、副院長の謝辞と厳かな雰囲気の中で執り行われました。

慰霊祭により、職員一同改めて病理解剖の意義を深く心に刻み、日々治療・研究に精進する気持ちを新たにいたしました。

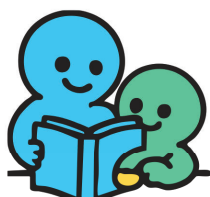




医王病院 ボランティア 募集中！

医王病院では入院患者さんの心のやすらぎや、
生活しやすい環境づくりのため、
ボランティアさんの力を必要としています。

ふれあいボランティア

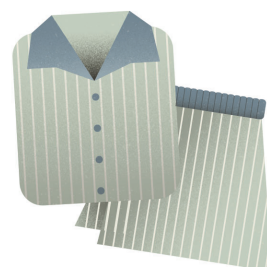


絵本の読み聞かせやお話などをさせていただきます。
(週に1回～月に1回程度)

被服ボランティア



入院患者さんの衣類の直しや、
必要な物品（布製品）を
作っていただきます。
(月に1回第3金曜日)



園芸ボランティア



屋上庭園の整備とお世話をさせていただきます。
(2週に1回～月に1回程度)

興味のある方は
医王病院管理課長まで
076-258-1180



< 医王特別支援学校の様子 >

10月22日(水) 創立50周年記念式典・文化祭

今年度本校は創立50周年を迎えました。10月22日午前に石川県の浅野副知事をはじめ多数の来賓と、卒業生にご臨席いただき記念式典を行いました。授業の写真や児童生徒の作品の展示、合奏動画の上映が行われ、ご参列の皆様から感動の声が多数寄せられました。

午後は引き続き文化祭が行われました。映像劇と合奏動画の上映とアロマ体験としてハンドクリーム作りを行いました。児童生徒の劇や演奏で頑張っている姿に感激し、アロマのいい香りに心身が癒される一日となりました。



合奏動画「ツバメ」



創立 50 周年記念式典



「アロマ体験」

『医王のくにの3人のおひめさま』

今年の文化祭の映像劇は、「医王のくにの3人のおひめさま」でした。創立 50 周年にちなんだオリジナル劇です。今回のストーリーの元になった絵本「しりとりのだいすきなおうさま」や「5のだいすきなおひめさま」で学習した後、児童生徒たちは思い思いの衣装を身に着けて役になりきって、演技をがんばりました。



行事や日常の授業の様子、自然に囲まれた校舎の様子など、ここでは紹介しきれなかったことがたくさんあります。学校ホームページで紹介しています。是非ご覧ください。

「石川県立医王特別支援学校HP」は、・・・

<https://cms1.ishikawa-c.ed.jp/iouxxs/>

パソコン、携帯電話等からご覧いただけます。

～ 外来診察のご案内 ～



【診察時間】

内 科

診察受付/午前 8:40～11:30
診察時間/午前 9:00～12:00

小児科

診察受付/午前 8:40～11:30
診察時間/午前 9:00～12:00

【休 診 日】土曜・日曜、祝日

●小児科外来担当

	診療科	月	火	水	木	金
午前	一般	細野 (越野/山田)	中村 (大学医師 /加藤)	脇坂 (大学医師 /細野)	吉田 (大学医師 /山田)	越野 (大学医師 /丸箸)
午後		午後は専門外来のみしています				

- ・健診、ワクチンは要予約⇒火曜日の14:00～15:00 枠で対応。
- ・医師の出張等により急遽担当が変更になることがあります。

●専門外来（要予約）

<子どものこころ> 中村
<言語/発達> 中村・脇坂・加藤
<神経/てんかん> 脇坂
<重症心身障害児・医ケア児> 丸箸
<筋ジストロフィー> 脇坂
<肥満・内分泌> 山田

●内科外来担当

	診療科	月	火	水	木	金
午前	一般内科	交代制	田上	交代制	交代制	田上
	脳神経内科 (再診)	疋島	駒井 本崎	石田 高橋	駒井 本崎	石田 朝川
	脳神経内科 (初診)				本崎 11:00~11:30	朝川 9:00~10:30 石田 11:45~12:30
	呼吸器内科		田上			田上
午後	脳神経内科 (初診)	疋島 13:00~14:00				

- ・脳神経内科の受診は電話予約が必要です。内科外来へお問い合わせ下さい。

●皮膚科

診療科	月	火	水	木	金
午後	一 般	大学医師		大学医師	

～ 患者さんの権利と義務 ～

患者さんは誰でも人間としての尊厳を大切にされ、医療を受ける権利を有します。また、医療は患者さんと病院職員が、お互いの信頼関係に基づき共に作り上げていくものです。したがって患者さんには医療に積極的に参加していただく必要があります。

当院はこのような考えに基づき、下記の「患者さんの権利」を尊重して医療を提供いたします。また患者さんは「患者さんの義務」を果たされるようにお願い致します。

患者さんの権利

1. 患者さんは良質な医療を公平に受ける権利を有します
2. 患者さんは病気に関する情報や検査・治療についての説明を聞き、自分の受ける医療を選択できます
3. 患者さんは個人情報保護される権利を有します
4. 患者さんはいつでもカルテ開示を求める権利を有します
5. 患者さんはいつでもセカンドオピニオンを求める権利を有します

患者さんの義務

1. 患者さんには病院の諸規則を守る義務があります
2. 患者さんには自ら病気を治そうと努力し、また病気に関し病院職員の指示を守る義務があります
3. 患者さんには他の患者さんの治療や検査、快適な療養生活に支障を与えないように配慮していただく義務があります
4. 患者さんには当院での入院治療が必要でなくなった時には退院頂く義務があります
5. 患者さんには医療費の外、利用契約に基づく一部負担金などを支払う義務があります

医師および医療従事者の権利

医師および医療従事者は、自らの良心や医療倫理に相反することに対して、患者さんからの要求があっても拒否する権利があります

職員募集

詳しくは病院ホームページまたは管理課 庶務班長までお気軽にお問合せ下さい



独立行政法人
国立病院機構 **医王病院**
北陸脳神経筋疾患センター

●交通アクセス

・IR森本駅より徒歩15分 ・北陸自動車道 森本ICより車で5分 ・山側環状線より車で5分

〒920-0192 金沢市岩出町二73-1 TEL.076-258-1180 FAX.076-258-6719 <https://iou.hosp.go.jp/>

■発行者 医王病院 ■発行人 石田千穂 ■発行日 令和8年1月26日 ■印刷所 株式会社ハクイ印刷